奈良県の労働市場の動き （令和8年9月分）

・有効求人倍率（季節調整値）は1.12倍で前月と同水準となります。

・全国は1.19倍で、奈良県は0.07ポイント下回りました。

・近畿ブロックは1.08倍で、奈良県は0.04ポイント上回りました。

・有効求人数（季節調整値）は21,426人で、前月より2.2%の減少となりました。

・有効求職者数（季節調整値）は19,129人で、前月より2.1%の減少となりました。

・新規求人倍率（季節調整値）は2.11倍で前月を0.06ポイント上回りました。

・新規求人数（季節調整値）は7,598人で、前月より5.3%の減少となりました。

＜就業地別の求人数を用いた求人倍率＞
・就業地別有効求人倍率は1.22倍となり、前月を0.01ポイント下回りました
・就業地別新規求人倍率は2.36倍となり、前月を0.23ポイント上回りました。

主要産業の新規求人状況を前年同月比でみると、「製造業」で増加しました。

建設業(前年同月比3.4%減)、
製造業(同12.1%増)、
運輸業，郵便業(同29.4%減)、
卸売業，小売業(同16.5%減)、
宿泊業，飲食サービス業(同0.2%減)、
医療，福祉(同1.9%減)、
サービス業(他に分類されないもの)(同2.3%減)

・新規求人数（原数値）7,144人のうちパート求人は3,284人でした。パート求人の比率は46.0%でした。

・新規求職者数（季節調整値）は、3,599人で前月より7.9%の減少となり４ヶ月ぶりの減少となりました。

・雇用保険受給資格決定件数は930件でした。

前年同月比11.3%の減少となりました。

※雇用保険受給資格決定件数は速報値であり、修正があり得ます。

・雇用保険受給者実人員は4,898人でした。

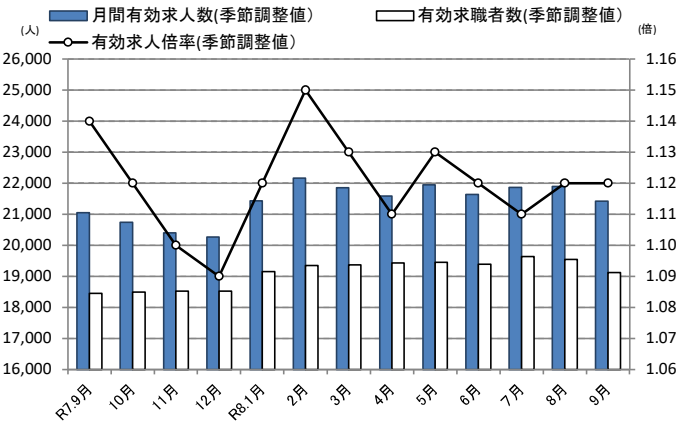
前年同月比で5.1%の減少となりました。

(注)・求人倍率等(季節調整値)については、季節調整替えが行われ、令和7年12月以前の数値は改訂されています。季節調整法センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)により改訂。

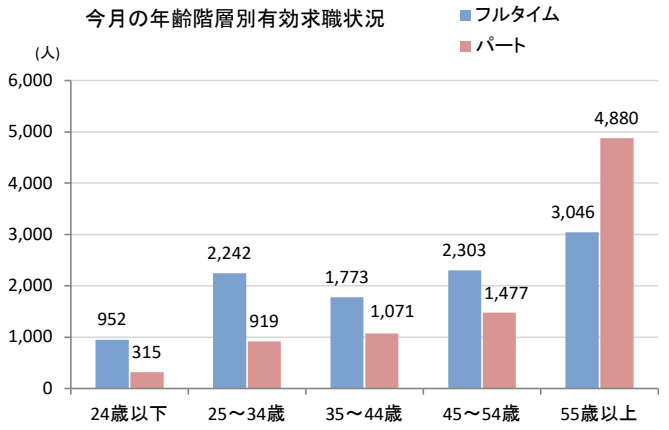
・求人倍率や求人数には、県内のハローワークが受理した求人数を用いた「受理地別」、実際の就業地が県内である求人数を用いた「就業地別」があり、本資料においては「受理地別」を用いています。

・ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数が含まれています。

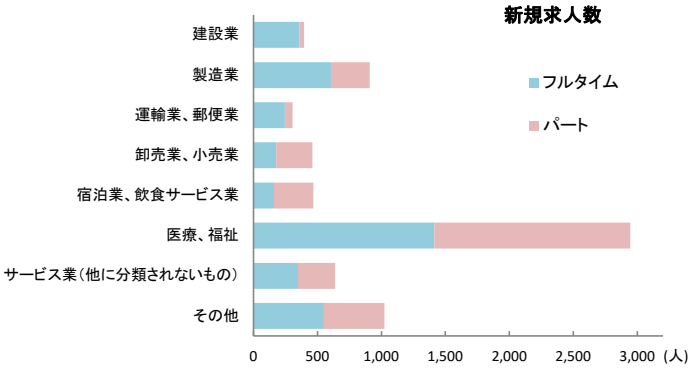
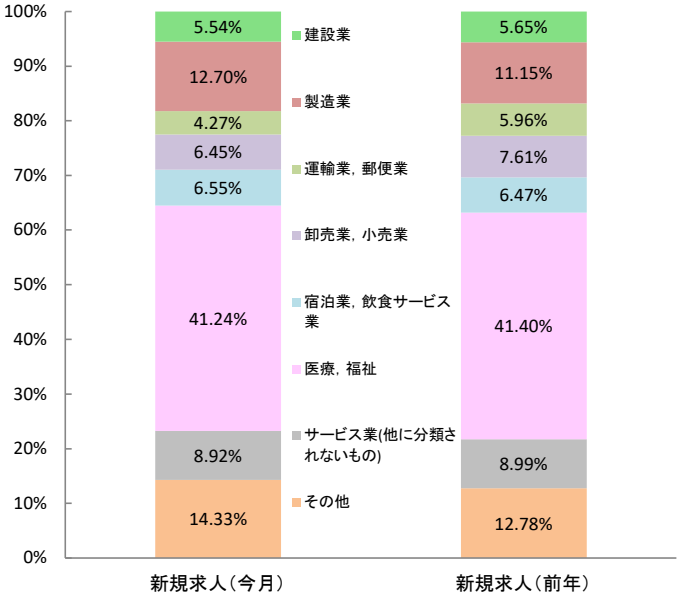
月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



今月の年齢階層別有効求職状況



新規求人数



新規求人の産業別割合